



2020年2月27日

各位

東京都八王子市美山町2161番地21

株式会社菊池製作所

代表取締役社長 菊池 功

(コード番号：3444)

問合せ先 取締役経営企画部長 乙川 直隆

電話 042-651-6093

2020年4月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年6月14日に公表いたしました2020年4月期（2019年5月1日～2020年4月30日）の連結業績予想及び個別業績予想につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年4月期通期 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,110	256	234	154	12.87
今回修正予想(B)	5,216	△39	△169	95	7.89
増減額(B-A)	△893	△295	△403	△59	△4.98
増減率(%)	△14.6	—	—	△38.1	△38.7
(ご参考)前期実績 (2019年4月期)	6,037	114	118	917	74.48

2. 2020年4月期通期 個別業績予想数値の修正

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,465	364	242	20.22
今回修正予想(B)	4,552	218	250	20.76
増減額(B-A)	△912	△146	8	0.54
増減率(%)	△16.7	△40.0	3.3	2.7
(ご参考)前期実績 (2019年4月期)	5,309	327	906	73.58

3. 修正の理由

連結業績ならびに個別業績において、量産製品ならびにロボット・装置等製品が堅調に推移しております。特にWORLD ROBOTECを中心としたスタートアップ支援のための枠組み形成のプラットフォーム構想に注力すべく事業改革に取り組んでおり、支援ファンド設立も相乗効果を発揮し、スタートアップとの連携構築・引き合い・受注は順調に拡大しております。一方で、試作・金型製品のうち携帯電話・スマートフォン、デジタルカメラ分野の市場縮小を受け、受注が著しく減少、また時計分野の受注も弱含みで推移しており、上記新事業のリソース注力もあり、連結業績ならびに個別業績において、売上高は2019年6月14日に公表の予想を下回る見通しとなりました。

利益面では、利益率の高い時計部品の切削加工が弱含みであること、加えて、連結業績においては、持分法適用関連会社において、販売促進のために販売管理費が増加しており、それに伴い持分法投資損失が増加していることにより、営業利益ならびに経常利益は予想を下回る見通しとなりました。個別業績においても、営業外収益として子会社からの受取配当金の計上を見込んでいるものの、営業利益ならびに経常利益は予想を下回る見通しとなりました。

また、特別利益として、連結業績ならびに個別業績において、有価証券売却益の計上を検討しております。これらにより、連結業績において、親会社株主に帰属する当期純利益は2019年6月14日に公表の予想を下回る見通しとなり、個別業績において、当期純利益は予想を上回る見通しとなりました。

なお、2020年4月期配当予想は、変更ありません。

以 上